

リベラル・アーツ教育を土台に グローバル人材を育成

本学は、カトリックの女子大
学として祈りを大切にしていま
す。大学名の「ノートルダム」
はフランス語で、聖母マリアを
表すもの。「清心」は清い心を
意味し、旧約聖書の詩編には
「潔白な手、清い心を持つ人が
神のもとにある」と謳われ、清
い心は神のみが与えることが出
来るとしています。ノートルダ
ム清心は、聖母マリアが人間と
して神から清い心を与えられて
いるという意であり、私たちが
聖母マリアのように清い心が与
えられるように励むことを意味
していると思います。

昨今の、自国中心主義に傾く
風潮にあっても、現代社会に求
められるのは生命と平和を尊び、
他者を尊重し、自分の能力や才
能を世の中のために用いる姿勢
です。本学においても、コロナ禍
禍により健康と安全を優先させ
るために、オンライン授業形態
での学びを取り入れていますが、
この新たな様式を受け入れなが

ら、一人ひとりを大切にすると
人間理解、課題を克服する力を養
うような幅広い知識を身につけ
る、質の高い教育を維持してい
きます。

専門分野の探求とともに 世界的視野で考え、 行動する力を

本学の設立母体となったのは、
1804年に聖ジュリー・ピリ
アトが創設した修道会です。
1924年にその志を継いだ6
名のアメリカ人シスターが来日
し、岡山の高等女学校の経営を



2019年ドイツで開催された模擬国連。着席して
いる中央の2名が本学学生。

引き継ぎます。そして1944
年に本学の前身となる岡山清心
女子専門学校が開校されます。
戦時中、シスター達は「敵国人
抑留所」に入れられ、岡山大空
襲では学生・生徒14名の尊い命
が失われました。

このような「記憶」から生ま
れた「善き神によって創造され
た人間が、真の自由人として
真・善・美を追求する」という
理念のもと、本学は1949年
に岡山県で最初の4年制女子大
学として設立されました。現在
は岡山県下唯一の女子大学の特
性を生かし、知性・感情・意思
そして「いのちの大切さ」にお
いて自立性を保つ「真の自由
人」として、社会と平和のため
に貢献する力を身につける教育
を行っています。そのために本
学では、自分の専門分野を主体
的に探求するとともに、世界的
視野を持つ考え、行動できる
人間を育成する「リベラル・
アーツ教育」を実践して、多様



JR岡山駅から徒歩10分の場所に位置するキャンパス

な分野の修得をめざしています。 アクティブラーニングを導入し 実践的学習で学生の 意欲向上を図る

中長期計画「ビジョン203
9」においてはさらに、自己実
現にあたって世界に知的なまな
ざしを向け、他者とのかわり
を謙虚に見つめ、与えられたも
のの可能性を信頼しつつ自ら判
断し、愛を持って他者に寄り添
い、社会に奉仕できる学生の養
成をめざしています。そのため
にカリキュラムにおいても、ア
クティブラーニングを意識した
自立力の育成につながる科目や
キリスト教科目を設置して、
「ボランティア」「SDGs」「平
和」「国際」といったキーワー

ドを重視した実践的な学習を推
進しています。

また、キャリア支援において
は、従来から対面での充実した
個人面談など、学生一人ひとり
に寄り添い、向き合った支援を
強みとしてきました。コロナ禍
のもとでも、学生と就職支援部
署とのつながりを強化していま
す。対面に加え、オンラインに
よる個人面談やガイダンス・セ
ミナー動画の配信、ライブセミ
ナーの開催などを行うとともに、
学生から提出を受ける就職報告
書類の手続きもオンライン化す
るなどの取り組みを進めていま
す。また、こうした支援におい
ては就職支援部署に加え、オン
ライン授業で常に学生とつな
がっている教員と協力し、学生
に対しての意識付け・勇気付け

および就活情報の提供にも注力
しています。

かねてから本学の学生は採用
企業より「真面目」「素直」「責
任感がある」「積極性がある」
との高い評価を得ていますが、
今後はオンラインによる就職支
援を機に、大学から離れた都市
部等で就職活動する学生や、海
外留学する学生に対しても、よ
り手厚く就職支援を広げてい
くことができると考えています。

教育理念を具現化する 地域社会への貢献活動を推進

本学のリベラル・アーツ教育
は昨今のグローバル化により、
さらにその使命を発展させてい
ます。めざしているのは、高い
外国語能力と多文化理解力によ
る国際性。さらに、幅広い教養



インクルーシブ教育研究センター：模擬授業練習の風景。

と高い倫理性を持ち、置かれた
場でリーダーシップを発揮し、
グローバルな視野で思考しつつ、
ローカルな視点で行動できる
「グローバル」力を身につける
ことで、社会や地域の課題解決
に貢献できる女性の育成です。

また、国連により「誰一人取
り残さない」という理念の下で
制定されたSDGs（持続可能
な開発目標）が本学の教育理念
と通底することから、「地域連
携・SDGs推進センター」を
設立。2020年度には、キリ
スト教精神における包摂性とS
DGsの考え方を基盤としてイ
ンクルーシブ教育に関する教
育・研究を持続的に行い、共生
社会の実現に寄与することを目
的とした「インクルーシブ教育
研究センター」も開設しました。

また、リベラルアーツ教育整備
WGを中心として、全学共通科
目の「自立力育成科目」におい
てリベラル・アーツ教育を土台
に、人権、特にジェンダー平等
を中心としたSDGsの課題解
決につながる力を育成する教育
プログラムを準備中です。

このような本学の取り組みは、
内閣府より「SDGs未来都
市」に選定されている岡山市と
も目的の一つにするものであり、
2018年より岡山市と包括的
連携協力に関する協定を結び、
SDGsに関心を深めている高
校生の受け皿ともなっています。
リベラル・アーツ教育を土台に
グローバル力を身につけ、課題
解決ができる人材を育成して地
域社会に輩出することで、現代
社会の要請に応えるとともに、
地域創生に貢献することをめざ
しています。

学生たちも、世界的視野で物
事を考え、この岡山の地をはじ
め、世界各地で多様な経験を積
んでいくことができるでしょう。
本学としても「世界に開かれた
大学」として、そうした学生た
ちの夢を引き続き支えていきま
す（なお、本学は2021年度入学者
から2学部5学科で各10名定員増を申
請しています）。



原田豊己 学長

はらだ・とよき/1953年生まれ。明治大学農学部、上智
大学神学部を卒業。同大学大学院神学研究科博士前期課
程修了。教皇庁立ウルバノ大学大学院神学研究科博士後
期課程修了、博士 (Ph.D. 聖書神学) の学位を取得。1982
年、カトリック広島司教区司祭。ノートルダム清心女子
大学客員教授を経て、2017年4月、第6代学長に就任。